

コロナに負けるな！  
元気・根気・やる気  
楠橋小学校

# 楠橋

＝ 共 育 ＝

学校だより第6号  
令和2年5月25日

北九州市立楠橋小学校  
校長 戸田 堅

## 学校再開！

5月25日（月）より学校が再開しました。本年度、初めて全校児童がそろって登校することができました。静かだった校舎に子どもたちの明るい声が響き大変嬉しく思っています。しかし、しばらくは、毎朝、熱を測ったり、手洗い・消毒をしたり、友達ともできるだけ距離をとって生活をしなければなりません。いつ、どこで感染するか予測がつかないため、子どもたちには少しでも感染する危険から自分自身の身を守る行動ができるよう学校でも指導していきます。また、それが、家族や友達、自分の身近な人を守ることにもつながります。ご家庭でも、ご協力をお願いします。



## コロナ差別をしないように

「感染への不安や恐れ」「ウィルスを遠ざけたい」という心理より、新たな差別やいじめが生まれてきます。例えば、「咳をしているあの人はコロナじゃない？」「あの病院はコロナの人がいるから近づいちゃダメ」「あの人はコロナだから今日学校を休んだと思うよ」などです。このような言動が広がると冷静な判断ができなくなり、特定の個人や建物を攻撃することになります。悪いのは人や建物でなくコロナウィルスです。

お医者さんや看護師さんをはじめ病院で働いている多くの方々は、みなさんの命を守るために戦っています。ぜひ、感謝の気持ちをもってください。そして、不幸にもコロナに感染してしまった方がいたとしても、早く健康になれるよう心より応援して支えましょう。今は、みんなが力を合わせて頑張る時です。

## 楠橋小学校のみなさんへ

学校での感染症を予防するために、マスクをつける、友達との距離をたもつ、などのルールを守っている自分をほめてください。もし、ルールを守っていないお友達を見たら、守っていない人を責めたり、見て見ぬふりをしたりせず、どうしたらルールが守れるか一緒に考えてください。そして、コロナウィルスと戦っている人や不幸にもコロナウィルスにかかってしまった人を絶対に差別しないでください。

また、「コロナ」という言葉を使って、お友達をからかったり、馬鹿にしたりしないでください。みんなで「笑顔あふれる学校」をつくっていきましょう。



※ この学校だよりは第6号です。第1～5号は、学校ホームページに掲載しています。